

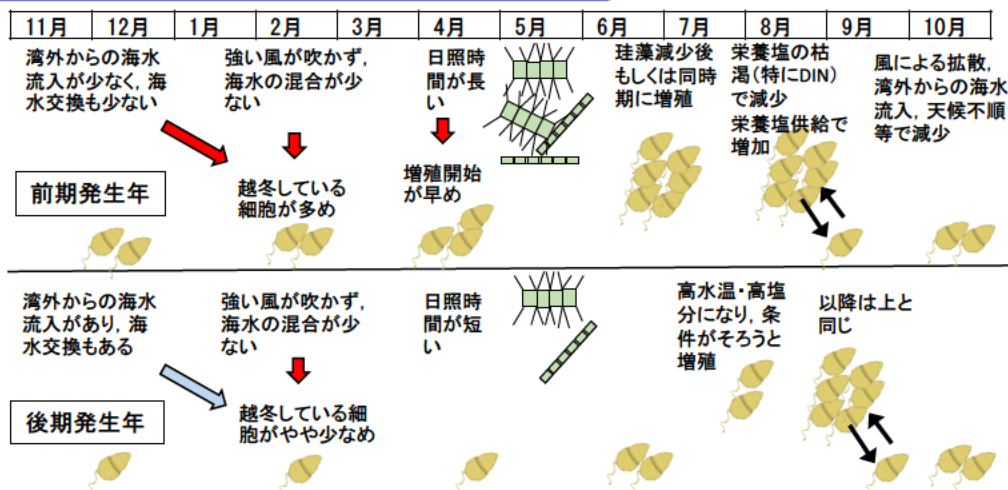
熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化 機構に関する研究

～赤潮の発生シナリオや赤潮の影響について～

英虞湾では毎年のように有害プランクトンの赤潮が発生します。その赤潮により、漁業被害が出ることがあります。そこで、有害赤潮の発生パターンや発生シナリオをまとめました。

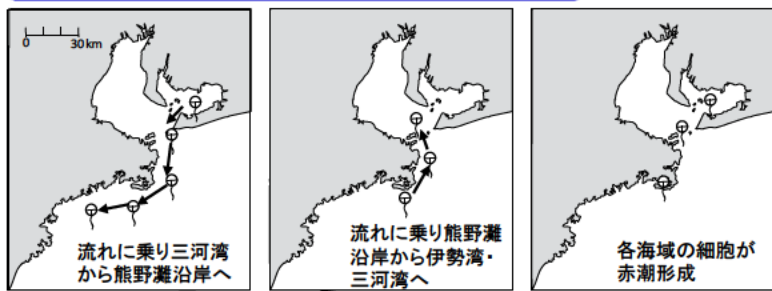
また、伊勢湾のノリ漁場ではしばしば珪藻赤潮が発生し、ノリの色落ち被害を出しています。そこで珪藻赤潮が栄養塩に与える影響について調べました。

ヘテロカプサ赤潮の発生シナリオ



●英虞湾では、前年の11月下旬からその年の4月までの環境が早め(7月まで)に赤潮が発生するかどうかに影響を与えていると考えられます。

広域赤潮の発生パターン



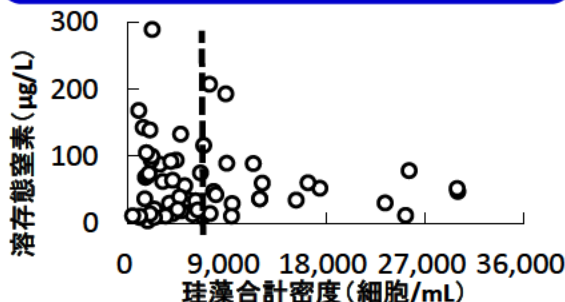
高密度で流れる場合と低密度で流れて各海域で増える場合のどちらの場合もあります。

●広域赤潮は黒潮から分かれた流れ等沿岸の海水の流れの影響が大きいと考えられます。

今後の課題

●今後も観測を行い、他の有害種についても発生シナリオをまとめていきます。また、ノリ漁場に関しては珪藻の影響についてまとめていきます。

珪藻細胞密度と栄養塩の関係



●伊勢湾では小型珪藻が9,000細胞/mL以上になると栄養塩(溶存態矽素)がノリの色落ちが起るほど低下すると考えられます。大型珪藻は、細胞数が少なくても影響があるようです。



三重県水産研究所 養殖・環境研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0016

FAX(0599)53-2225